

卓 話 『海外安全のための基礎知識』

卓話：安藤 武司



<日本とは違う海外事情>

- ・日本は世界の中でも治安の優れた国の一つです。日本での生活に慣れた人が、海外へ行った際には、予想もしない事件・事故にまきこまれるケースが非常に多くあります。
- ・違った危険が待ち構えています。常に事件・事故・急病と隣り合わせの環境です。
- ・旅行者一人一人が事前に体調確認し、「知識」「意識」を持って、安全対策を講じることが何よりも大切です。

<自分の身は自分で守る>

(A) 危険な場所には近づかない

- ・内乱、クーデター、テロ事件により政情や治安が不安定で、渡航を控えたり特別な注意を！
- ・滞在先では「危険な場所」でなくても、凶悪犯罪が多発する場所もあります。
- ・特に、夜間の外出や一人歩きは避けるように！

(B) 多額の現金・貴重品は持ち歩かない

- ・日本人は裕福で、「多額の現金等を持っている」先入観があり、財産犯罪のターゲットにされるケースが多くあります。
- ・外出の際は、ホテルのセフティーBOXに預けることや、トラベラーズチェック、カードを！
- ・パスポートコピーの携帯を認められる国もあります。

(C) 犯罪にあったら抵抗しない

- ・犯罪者の多くは凶器を所持しています。グループで犯罪に及ぶ場合が多い。
- ・犯人の要求に抵抗、反抗すると被害が拡大する可能性が高くなります。
- ・万が一犯罪にあったら、生命の安全を第一に！
- ・犯罪にあったら抵抗しない遭遇したら、警察に被害届を出す（犯行状況を記憶）

(D) 見知らぬ人を安易に信用しない

- ・睡眠薬強盗、いかさま賭博、偽ガイド等、犯罪手口は多様、巧妙です。
- ・旅先での知り合いになるのは「旅の醍醐味」の一つですが、これに付け込んだ犯罪は多い。
- ・「NO」とはっきり断る勇気を！現地人の家での招待には、要注意！

(E) 親しくなっても一線は譲らない

- ・お酒などで、ガードが甘くなると、相手に下心が芽生え習慣の違いから勘違され被害に！
- ・特に、女性や単身旅行社の弱者が多いようです。

(F) 買物は信用のおける店を選ぶ

- ・品物が粗悪や、注文と違う場合にクレームを付けたり、保障を求めることは非常に難しい。
- ・クレジットを悪用する、悪質な店があります。
- ・カード利用の際は、サイン前に（金額・通貨単位）の確認のこと。

(G) ホテルの中でも安心しない

- ・ホテルロビーでの置き引き犯罪、部屋の中での強盗被害があります。（格安宿は要注意）
- ・部屋では、ドアチェーンを掛け、相手を確認後にOPEN（防犯対策を！）

<ケーススタディ> 1. 財産犯罪

(A) スリ犯罪

- ・「路上で」 ソフトクリーム、ケチャップ、マスタード等を衣服に浸けられて！
- ・「乗り物のなかで」 集団に囲まれて、車内の揺れに合わせての犯罪
- ・「ショッピング中に」 エスカレーターやエレベーターの中での犯罪（すぐに所持品確認を）

(B) 置き引き犯罪

- ・「空港、ホテルロビーで」 チェックイン、アウトの際（足元の荷物）
- ・「セキュリティー・ボディチェック中に」 置き引き多発！
- ・「レストランで」 ビュッフェ（バイキング）形式で、席取りのためイス、テーブルに置いて戻ったら無くなっていた。
イスにショルダーカバン・ジャケットを掛けて、食事中に財布を抜かれた。（体に密着を）
- ・「誰かに話しかけられた隙に」 列車車内の隣の席に置いたカバンを持ち去られた。

(C) ひったくり

- ・「路上で」 （荷物は、車道側をさけ、体の前方に置くように）
- ・「地下鉄・バス昇降口で」 （体の前に置く、しっかりと持つ様に）

<ケーススタディ> 2. 偽ガイドの出迎え

- ・空港到着出口等で、ネームプレート掲げて、行動を共にして多額を脅し取る
（スーツケースに付けた名札を見て作成し出迎えられた）
事前に出迎者の会社名、氏名を確認し、身分証明書の提示を求める
- ・その他：「偽警察官」「ポン引き／ぼったくりバー」「宝石詐欺」「クレジットカード詐欺」「睡眠薬詐欺」「首絞め強盗」「カージャック」「路上強盗」「悪徳タクシー／白タク」

<禁制品、制限品目の持ち込み、持ち出しに注意！>

<写真撮影時の注意！>

<宗教や習慣によるトラブル>

<渡航先のルール&習慣&マナーに注意！>

<麻薬に関わるトラブル>

- ・海外で麻薬に関わることは、特に深刻な事態を招きます。
- ・各国では、麻薬犯罪により重い刑罰を受、無期刑や死刑宣告者もいます。
- ・軽はずみな行動、注意不足で自分の人生を台無しにしないためにも、関わってはいけません。

ケース1. 繁華街にて、二人組男性に声を掛けられ、「良いお茶」「健康食品」があると、つきまとわれ購入させられた。ホテルに帰った後、警察官に「麻薬取締」と言われ、現行犯逮捕された。（麻薬所持の密告にて報奨金を手に入れるための犯行）

ケース2. 知らないうちに麻薬の運び屋にされていた。
現地で知り合った男性から「〇〇国に着いたら、友達に渡してほしい」と頼まれた。空港手荷物検査場で、荷物から麻薬が発見され、現行犯逮捕された。

<参照> 外務省：海外安全虎の巻